

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	福井県小浜市立内外海小学校
授業者	川嶋 雪枝

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

内外海の海の恵みについて調べよう

#### 1-2. 学年

4年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 社会科

#### 1-4. 単元の概要

内外海地区は海に面していて、漁業が盛んな地域である。自然豊かな地域であるが、子どもたちにとっては身近すぎて、その魅力に気づいていないことも多い。雲龍丸乗船体験や県栽培漁業センター見学で海の現状を学んだり、実際に海に出てシーカヤック体験やいかだづくり体験から海の美しさを感じ取ったりして、この地域の魅力に気づき、発信したり、自分たちの生活や地域のために行動しようとしたりする態度を育成することをめざす。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

3生では、「内外海の宝ともっとつながろう」をふるさと学習のテーマとして、地域の成り立ちや食べ物（梅、塩、牡蠣）を中心に調べてきた。4年生では、地域の産業や観光資源などに目を向けて、海を中心とした地域の魅力に気づき、その魅力を地域の人に発信していく。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

内外海地区の良いところを発見する力  
課題を見つける力  
地域をよりよくするために、自分にできることを考える力

1-7. 単元の展開（全30時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
5	学習課題と学習計画の設定 「内外海の海の恵みを調べよう」 ・これまでの学習や生活経験をもとに、知っていること、知りたいことを共有し、学習計画を立てる。	
10	「海の環境を知ろう」 ・雲龍丸乗船体験  ・県栽培漁業センター見学  ・体験のまとめ、ふり返り	若狭高校海洋学科 ・海面・海底の環境を観察したり、昔と現在の海水の様子の違いを聞いたりして、現在の海の現状を知る。 県栽培漁業センター ・内外海の漁業について関心をもち、海の資源や、それを守る方法について考える。 ・成果や課題をスライドでまとめ、発表する。
10	シーカヤック体験（2年、4年）  自然教室（4年、5年）  ・体験のまとめ、ふり返り	ブルーパーク阿納（阿納パドロードクラブ） 国立若狭湾青少年自然の家 ・地域の施設を活用し、内外海の環境管理や保全する人々の努力や工夫を実感し、地域の魅力を発見する。 ・異学年で協力して活動する。 ・成果や課題をスライドにまとめ、発表する。
5	これまでの活動のまとめ	

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

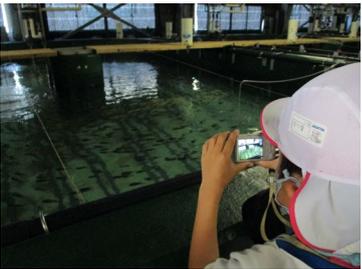
単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

- ・養殖場を見学したり、話を聞いたりすることで、養殖の仕事の工夫や働く人の思いを知る。
- ・内外海の海の豊かさに気づき、これからも海の環境を守ろうとする心情を高める。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○県栽培漁業センターでの活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・県栽培漁業センター所長から、魚の養殖や昔と現在の海の環境の変化について話を聞いたり、実際に養殖場を見せてもらったりする。</li><li>・質問や感想を発表する。</li><li>・学習の振り返りを書く。</li></ul> <p><b>【児童の感想】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・マダイの稚魚を大きく育ててから海に返すことで、内外海の海の魚の数が保たれていることが分かった。</li><li>・昔はサワラがあまり獲れなかったが、海水の温度が高くなってきたこともあり、現在では獲れるようになったことが初めて分かりました。</li><li>・内外海の海は、小浜湾の内側と外側で川から流れてくる水の量が違い、プランクトンの数に違いがあることが分かりました。</li><li>・内外海の海を守るために、漁業センターの方が努力していることを初めて知りました。</li><li>・これからもきれいな内外海の海を残していきたいと思いました。</li></ul>	<p>・雲龍丸乗船体験時に出た、海や魚に関する疑問を解決できるように声かけする。</p> <p>・内外海の海や栽培されている魚の理解を深めたり、今後の学習の見通しをもったりしているか。</p>   

### 3. 今回の活動の自己評価

山から流れる栄養豊富な水が海に流れることで、美しい海が作られ、多くの魚や海藻が育つことを知ることができた。子どもたちは、実際に海を観察したり、話を聞いたり、触れたりしたことで、内外海地区の海の魅力をより強く実感することができた。体験後のまとめや振り返りについては、グループごとにまとめ、学習発表会などで地域の人に伝えることができた。

「これからも、きれいな海が持続できると良い」という意見が多く出たので、自分たちで海の環境を守るために何ができるかを様々な視点から考えていきたい。

### 4. 今後の課題

海の環境を知るための体験や見学を設定し、地域の海の豊かさについて実感することができた。体験だけで終わらせるのではなく、今後は、現在の海のきれいな環境を持続させるためにできることを考えたり、行動に移したり、多くの人に地域の魅力を知ってもらう機会を設定したりしながら、活動を継続させていく必要がある。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点